

h051k

平成 3 年 度

# 秋田県環境技術センター年報

第 19 号

(1991)

秋田県環境技術センター

## はじめに

近年、二酸化炭素等による地球温暖化、フロンガス等によるオゾン層の破壊、酸性雨による森林の消失等が深刻な問題として取り上げられてきております。

特に、地球環境問題については、昨年6月にブラジルで「環境と開発に関する国連会議」（地球サミット）が開催され、「環境と開発に関するリオ宣言」等が採択され閉幕しましたが、地球環境を守るための各国の共同事業は著についたばかりであります。

さいわい秋田県の環境は、一部の河川や湖沼で環境基準が達成していないものの、大気、水質等概ね良好な状況で推移しております。

このすばらしい環境を守り、次の世代に引き継ぐことは、私達の責務であると考えております。

これまでも職員一人ひとりが、それぞれの責任を自覚し、調査研究に努めてまいりましたが、当センターが更に将来にわたり、時代の要請を先取りした研究課題に取り組むためにも、関係各位のご理解とご支援が是非必要であると考えております。

この年報は、平成3年度に実施した調査研究等を取りまとめ、年報第19号として発刊したものであります。

なにとぞ、ご高覧のうえ、ご指導、ご助言を賜ることができれば幸いに存じます。

平成5年1月

秋田県環境技術センター

所長 片岡 實